

## 予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：教育費 項：保健体育費 目：体育振興費

## 事業名 学校体育指導事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会 体育健康課 学校体育係 電話番号：058-272-1111(内8716)

E-mail：c17769@pref.gifu.lg.jp

1 事 業 費 1,326 千円 (前年度予算額： 2,049 千円)

## &lt;財源内訳&gt;

区分	事業費	財 源 内 訳								
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 収 入	産 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 般 財 源
前年度	2,049	0	0	0	0	0	0	0	0	2,049
要求額	1,326	0	0	0	0	0	0	0	0	1,326
決定額										

## 2 要 求 内 容

## (1) 要求の趣旨（現状と課題）

幼・小・中・高における体育指導者の資質や指導力向上を図るため、養成研修等に教諭を派遣し、伝達講習会等を実施する。

また、各学校で行った体力テストの結果を調査・分析することで、児童生徒の体力における課題等を明らかにし、検討会で改善事項や実践内容を検討した上で体力向上の取組を推進する。

## (2) 事業内容

## ・教員研修

- ①体力向上マネジメント指導者養成研修派遣（開催地：茨城県）
- ②体育・保健体育指導力向上研修派遣（開催地：福井県）
- ③小・中学校体力向上マネジメント指導者講習会・体育実技指導者講習会（伝達講習）
- ④高等学校体育実技指導者講習会、体力向上マネジメント講習会
- ⑤中・高等学校武道（剣道・柔道）指導者講習会
- ⑥遊びを活用した体力向上指導者講習会
- ⑦幼児運動遊び指導者講習会

## ・体力テスト調査データ集計処理

業者に調査データ集計処理を委託

## ・子どもの体力つくりに係る取組み

体力向上に係る検討会を設置し、授業や学校全体で取組むことができる運動プログラムの開発、普及を図る。（体力向上プロジェクト検討会、ぎふっこダンスフェスティバル）

新体力テストを実施する1学期と他学期の平均記録の差がどれだけ伸びたかで順位づけを行い、各項目、各学年の上位5チームを表彰する。（チャレンジスポーツinぎふ）

### (3) 県負担・補助率の考え方

県10/10

県内全域への事業であるため、県負担が妥当。

### (4) 類似事業の有無

無

## 3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	256	講師謝金
旅費	610	養成研修、伝達講習等費用弁償
委託料	250	調査データ集計処理、ホームページ構築
使用料	210	研修会、講習会等会場借上料
合計	1,326	

## 決定額の考え方

## 4 参考事項

### (1) 各種計画での位置づけ

#### (1) 法令等との関係

「小学校学習指導要領 体育」「中学校学習指導要領 保健体育」

- ・小学校低・中学年、中学校で授業時間を増加
- ・中学校の第1学年及び第2学年で武道、ダンスが必修化

#### (2) 各種計画での位置づけ

- ・第4次岐阜県教育振興基本計画

施策I 「豊かな人間性」の育成

5 文化芸術やスポーツに触れ、感性を育む機会の充実

施策III 「健やかな体」の育成

16 体力づくりの推進

# 事業評価調書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### (事業目標)

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

体育科教諭に最新の指導方法等を伝えるための伝達講習会を実施し、指導者の資質向上や、児童生徒の体力・運動能力調査の分析に基づき、体力向上に向けた取組を推進します。

### (目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R )	R5年度 実績	R6年度 目標	R7年度 目標	終期目標 (R10)	達成率
①新体力テストにおける総合評価C以上の児童生徒の割合		小学校 67% 中学校 75%	小学校 80% 中学校 85%	小学校 80% 中学校 85%	小学校 80% 中学校 85%	小学校 81% 中学校 88%
②卒業後もスポーツをしたいと「思う」「やや思う」児童生徒の割合		小学校 87% 中学校 81%	小学校 90% 中学校 90%	小学校 90% 中学校 90%	小学校 90% 中学校 90%	小学校 97% 中学校 91%

### ○指標を設定することができない場合の理由

### (これまでの取組内容と成果)

令和4年度	体力向上マネジメント指導者養成研修については新型コロナウイルス感染症対策によりWebにて参加。体育・保健体育指導力向上研修派遣については新型コロナウイルス感染症対策により中止。 小中学校体育実技指導者講習会（伝達講習）については参考にて実施。高等学校体育実技指導者講習会（伝達講習）については新型コロナウイルス感染症対策により講師を中央研修に派遣できなかつたため中止。 研修会及び講習会については通常開催ができないときもあったが、Webでの開催など開催方法を工夫することで、少しでも受講生にとって有益となる研修になるよう心掛けた。
	指標① 目標：小学校： <u>80%</u> 、中学校： <u>85%</u> 実績：小学校： <u>65%</u> 、中学校： <u>75%</u> 達成率：小学校： <u>81%</u> 、中学校： <u>88%</u>
	指標② 目標：小学校： <u>90%</u> 、中学校： <u>90%</u> 実績：小学校： <u>87%</u> 、中学校： <u>82%</u> 達成率：小学校： <u>97%</u> 、中学校： <u>91%</u>
令和5年度	幼児運動遊び指導者講習会は、大学講師を招き、2地区の小学校において実施した。 小中学校体力向上マネジメント指導者講習会（伝達講習）は、各地区の小学校等で実施した。 体力向上プロジェクト検討会は大学教授を招き2回実施した。 高等学校体育実技指導者講習会（伝達講習会）はOKBぎふ清流アリーナで実施した。 各研修会・講習会が参考にて開催できるようになり、実技を伴う内容や実際の教材・教具を見て触れられる実践交流等、受講生にとって有益な研修となるよう努めた。
	指標① 目標：小学校： <u>80%</u> 、中学校： <u>85%</u> 実績：小学校： <u>67%</u> 、中学校： <u>75%</u> 達成率：小学校： <u>84%</u> 、中学校： <u>88%</u>
	指標② 目標：小学校： <u>90%</u> 、中学校： <u>90%</u> 実績：小学校： <u>87%</u> 、中学校： <u>81%</u> 達成率：小学校： <u>97%</u> 、中学校： <u>90%</u>
令和6年度	幼児運動遊び指導者講習会は、大学講師を招き、2地区の小学校において実施した。 小中学校体力向上マネジメント指導者講習会（伝達講習）は、各地区の小学校等で実施した。 体力向上プロジェクト検討会は大学教授を招き2回実施した。 高等学校体育実技指導者講習会（伝達講習会）はOKBぎふ清流アリーナで実施した。 各研修会・講習会が参考にて開催できるようになり、実技を伴う内容や実際の教材・教具を見て触れられる実践交流等、受講生にとって有益な研修となるよう努めた。
	指標① 目標：小学校： <u>80%</u> 、中学校： <u>85%</u> 実績：小学校： <u>67%</u> 、中学校： <u>77%</u> 達成率：小学校： <u>84%</u> 、中学校： <u>91%</u>
	指標② 目標：小学校： <u>90%</u> 、中学校： <u>90%</u> 実績：小学校： <u>90%</u> 、中学校： <u>83%</u> 達成率：小学校： <u>100%</u> 、中学校： <u>92%</u>

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

#### ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価) 3	新学習指導要領に沿った最新の工夫がなされた指導方法を伝達するため に、本事業は必要である。また、新体力テストの結果集計は、県内の児童生 徒の実態と全国の結果とを比較する上で重要である。
-----------	--

#### ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

3：期待以上の成果あり  
2：期待どおりの成果あり  
1：期待どおりの成果が得られていない  
0：ほとんど成果が得られていない

(評価) 2	学校現場の指導者のニーズに応えた種目の講習会を設けたことで受講者が 意欲的に受講でき、児童生徒の体力向上に向けた取組や指導への意識が高 まったと感じた。
-----------	--

#### ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)

2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている

(評価) 1	受講対象者のキャリアステージに応じた内容の研修となっている。
-----------	--------------------------------

### (今後の課題)

#### ・事業が直面する課題や改善が必要な事項

県全体として体育指導者の資質向上を継続的に図る必要がある。

### (次年度の方向性)

#### ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

指導者の資質向上は、常に求められていることや、児童生徒の体力向上は喫緊の課題であることを勘案し、事業の継続及び手立てが必要。

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	